

授業科目

福祉NPO論

担当教員名 井上 基之 (非)	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

授業の概要

NPOの定義について理解する。
福祉NPOの意義について理解する。
福祉NPOの実践内容について理解する。

授業の目的

地域福祉の前進に伴って福祉NPOの役割が大きくなってきているが、福祉NPOが実際に貢献している。
地域福祉との相互関係において、福祉NPOの役割や存在意義を具体的に理解できるようにする。

学習目標

NPOが創出する社会領域について理解する。
福祉NPOの役割について把握する。
NPOの経営について理解する。
福祉NPOの具体的な実践内容について把握する。
福祉NPOの実践事例を把握する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	NPOの定義と成り立ち	講義に基づく理解を基本とするが、自発的な発言を歓迎する（以下、同じ）	井上 基之
2	NPOとソーシャルワーク		井上 基之
3	災害支援とNPO		井上 基之
4	障がい者を対象としたNPO		井上 基之
5	高齢者を対象にしたNPO		井上 基之
6	児童を対象にしたNPO		井上 基之
7	地域活動とNPO		井上 基之
8	NPOの経営		井上 基之
9	NPOと行政の関係		井上 基之
10	福祉NPOの実践事例（1）		井上 基之
11	福祉NPOの実践事例（2）		井上 基之
12	福祉NPOの実践事例（3）		井上 基之
13	福祉NPOの実践事例（4）		井上 基之
14	福祉NPOの実践事例（5）		井上 基之
15	まとめ		井上 基之

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	授業時に資料を配布する。					

評価方法

レポートによって評価する（80点）。授業中の発言内容によって評価する（20点）。

履修上の留意点

NPOについて、インターネットや著書によって、あるいは直接、訪問するなどして、その実情について把握しておくことが望ましい。

県内のNPOに積極的な関心を持つことが望ましい。

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、当該科目名・所属学科・学年・学籍番号・氏名・質問内容等を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへ連絡ください。